

○ 宣 言

今や我が日本は對外的には國際聯盟脫退を中心として外交上の危機に直面し對内的には資本閥の暴逆は實に暴若無人を極めて國民生活に極度の脅威を與へ勸業大衆は將に餓死線上を彷徨し政黨政治の亡國的情勢は極點に達し人心は悔々として歸趨に迷ひ國運の前途暗澹として測るべからざる現狀である。

此の危機に當り我等は須く財閥と政黨との野合的勢力を徹底的に打倒し彼等に依りて鞏固されつゝある政治的經濟的支配を完全に排除し以て内外の國難を匡救し上天皇陛下、下萬民大衆との間に何等の階級的特權の介在を許さざる新政治形態と新經濟組織の上に眞に國民大衆の福祉を確保すべき更生日本を建設し以て昭和維新の大業を完成すべきを痛感する我等は斯の如き意味に於て全日本人員の大半を占むる農民大衆の生活解放こそ眞に建國なる新日本建設の大本なりと確信し多年其の目的遂行の

爲に闘ひ來れるも亡國的資本家地主の猛襲は遂に絨上の今日の狀勢を醸すに至れり此の重大なる時に當り我等は國家主義を奉ずる我が日本農民組合の任務の重且つ大なるを痛感し茲に豊前聯合會第六回大會を開催するに當り其の立場を宣明し以て祖國日本の更生に依る國民大衆の生活保證の爲に決死的闘争を決行せんことを誓ふ。

右宣言す

昭和八年三月二十四日

日本農民組合豊前聯合會第六回大會